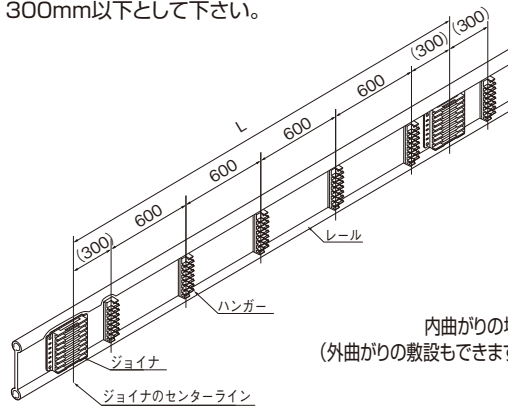


1 ジョイナ・ハンガーの取り付けピッチ

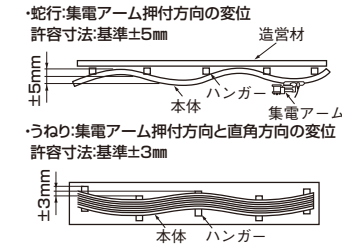
■ハンガーの取り付けピッチ

ハンガーの取り付けピッチは、直線部で600mm以下、曲がり部で500mm以下です。ジョイナ・センターフィードインジョイナから両端のハンガーまでの取り付けピッチは300mm以下として下さい。

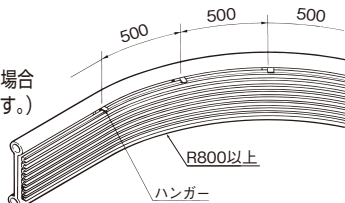


●ご注意

●本体の蛇行・うねりが許容寸法内となるようハンガー及びジョイナを設置して下さい。



■曲がり部のハンガー取り付けピッチ



内曲がりの場合
(外曲がりの敷設もできます。)

曲がり部では、500mm以下のピッチで取り付けして下さい。

●ご注意

接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。本体長さは2997±2mmです。

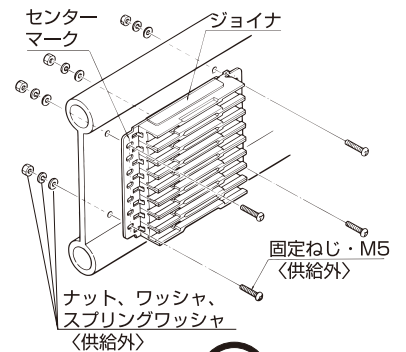
■ジョイナの取り付けピッチ

本体の熱伸縮を吸収するためにジョイナ(センターフィードインジョイナ)は下表の寸法で取り付けして下さい。

敷設時の周囲温度	取り付け寸法:L	接続部の導体間寸法
10℃以下	3003	5~13
11~40℃	3000	3~10

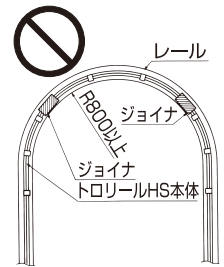
2-1 ジョイナの取り付け

1. 下図のとおりジョイナの取付穴に合わせて穴加工します。(2-2参照)
2. レールに固定ねじで、センターマークに合わせて取り付けます。



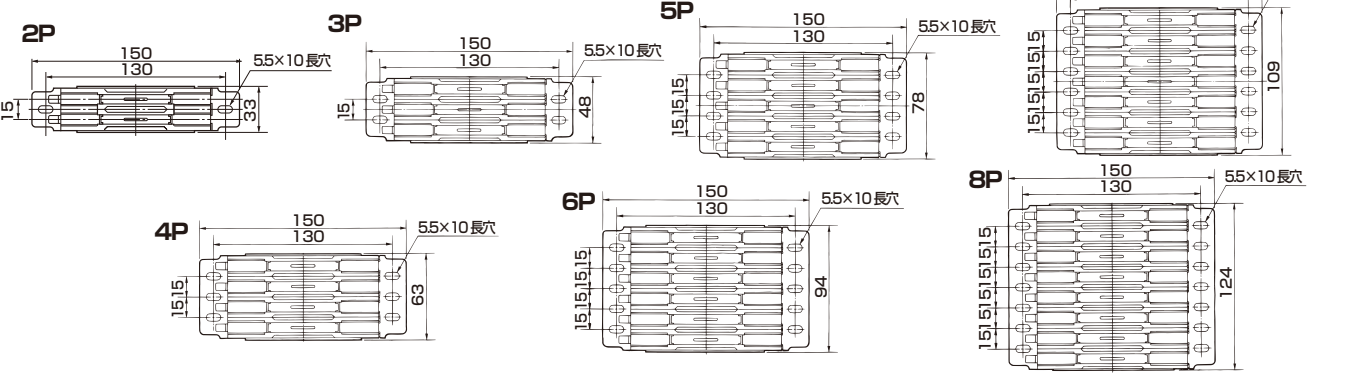
●ご注意

曲がり部での接続はさけてください。ジョイナ間に本体を取り付ける時、本体を湾曲させる必要があり、内曲がりの場合は、直線部分がとれる様、曲がり部の中心にジョイナを設けると曲がり部での接続が可能です。

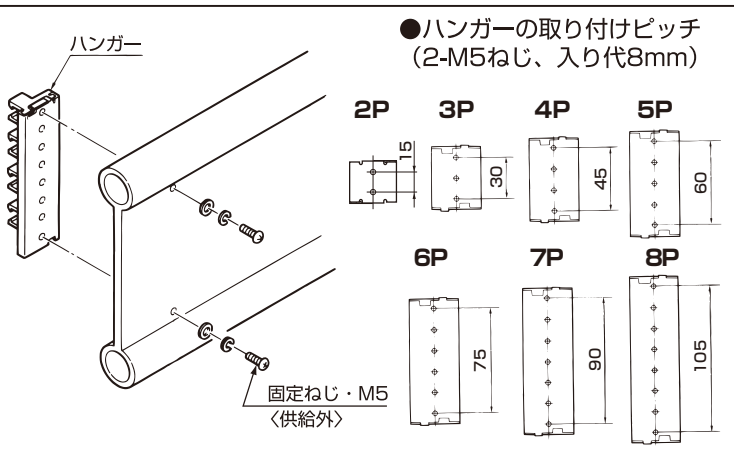


2-2 ジョイナ(センターフィードインジョイナ)の取付穴寸法

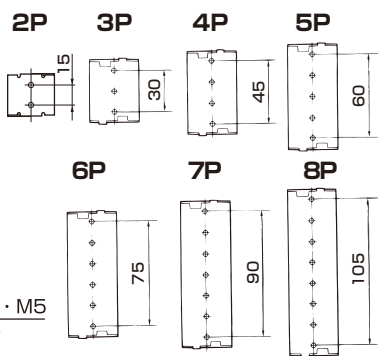
ジョイナおよびセンターフィードインジョイナの取付穴は、下図のとおりです。



3 ハンガーの取り付け

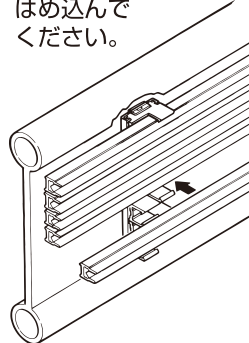


●ハンガーの取り付けピッチ
(2-M5ねじ、入り代8mm)



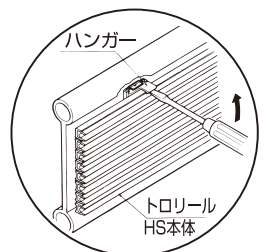
4 本体をハンガーに取り付ける

下図のように本体をハンガーにパチンとはめ込んで下さい。



■本体の取り外し

ハンガーの切欠部にマイナスドライバーを差し込み、上と下2カ所を上下に開くと、簡単に外せます。



5 センターフィードインジョイナーの取り付け

1. レールに穴加工をします。(2-2のジョイナーの取付穴寸法を参照)
2. レールに固定ねじで、センターマークに合わせて取り付けます。

★UL規格品として使用する場合には、給電用ボックス及び給電ケーブル用端子台に制限があります。その内容は以下の通りです。

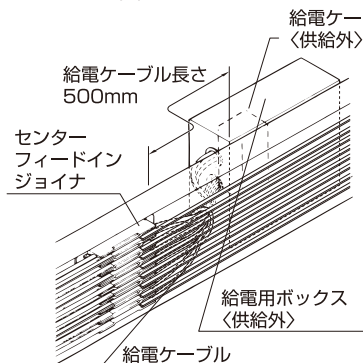
1. 給電用ボックス UL50 Enclosures for Electrical Equipment に準拠している仕様であること。
2. 給電ケーブル用端子台 下表の端子台であること。

メーカー	品番	ねじ締付トルク N・m(kgf・cm)
春日電機(株)	TX100	8~10 {80~100}
共立継器(株)	KT-100	8.5~11 {85~110}



注意

給電ケーブル用端子台ねじは、確実に締め付ける
火災のおそれがあります。



■給電ケーブル本数

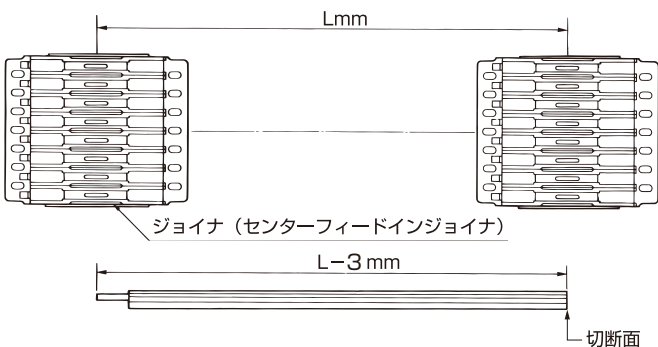
	AWG4 (22mm ²)	AWG8 (8mm ²)
2P	2本	—
3P	3本	—
4P	3本	1本
5P	3本	2本
6P	3本	3本
7P	3本	4本
8P	3本	5本

※給電ケーブルの長さは500mmです。

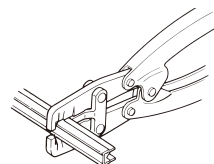
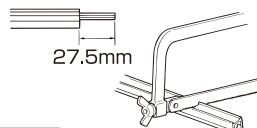
6 本体の切断および端末加工

1. ジョイナー間寸法(中心寸法) L に合わせて本体を3mm短かく切断します。

2. 本体を下図の寸法にケガキ、金ノコまたは、専用シースカッターで絶縁シーンを取り除きます。



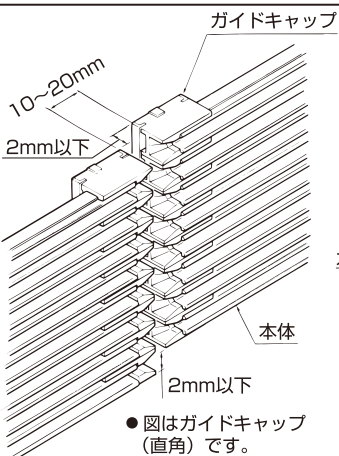
- 金ノコの場合
- 専用シースカッターの場合



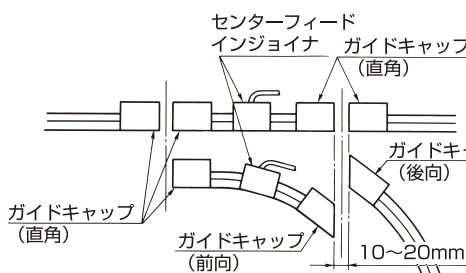
■ご注意

1. 金ノコで切断するときは、導体に傷を付けないようにご注意ください。
2. 本体切断面および絶縁シーン端部は、電工ナイフ・ヤスリなどでバリ取りをしてください。
接触不良のおそれがあります

7 ガイドキャップの取り付け



■ガイドキャップの用途

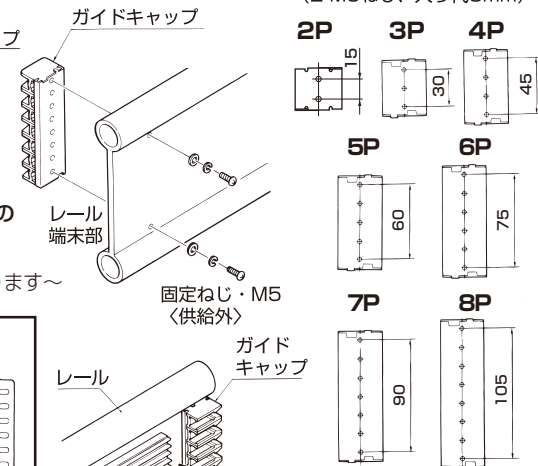


■ご注意

1. 集電アームはタンデム型を使用し乗り移り部分の走行スピードは60m/分以下としてください。
2. 各部取付寸法をお守りください。
~接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります~

■ガイドキャップの取り付け

1. 下図のとおりレールに穴加工をします。
2. ガイドキャップをレールに固定ねじで取り付けたあと、本体をガイドキャップに差し込みます。
(2-M5ねじ、入り代8mm)

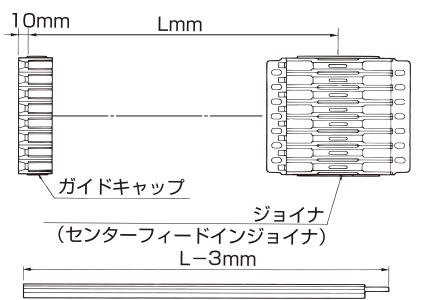


本体の切断・端末加工

ジョイナーとガイドキャップ間寸法 L に合わせて本体を3mm短かく切断します。

■ご注意

本体切断後は、電工ナイフやヤスリなどで切断面のバリ取りをしてください。
接触不良のおそれがあります



■ガイドキャップに本体を取り付ける

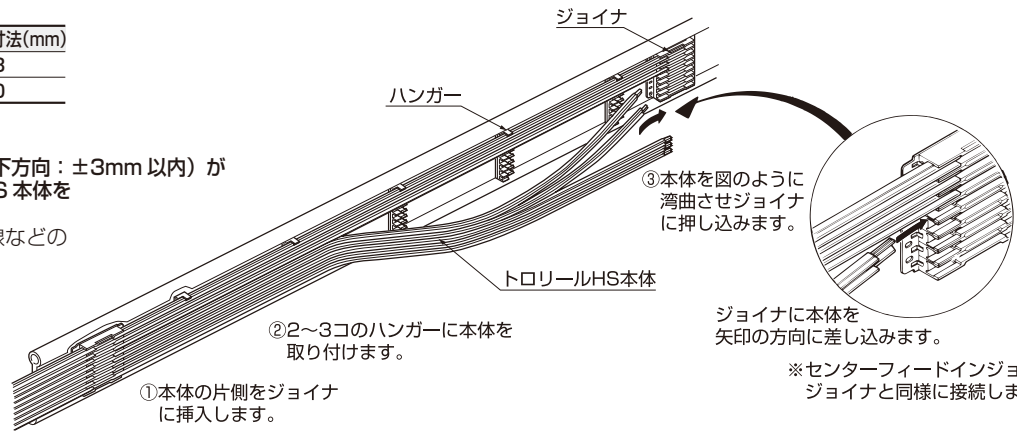
ガイドキャップに本体を確実に矢印方向に押し込み、取り付けてください。

8 本体の接続方法

布設時の周囲温度	接続部の導体間寸法(mm)
10℃以下	5~13
11~40℃	3~10

ご注意

異常な変形や本体の蛇行(上下方向:±3mm以内)が生じないようにトロリールHS本体を取り付けてください。
接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります



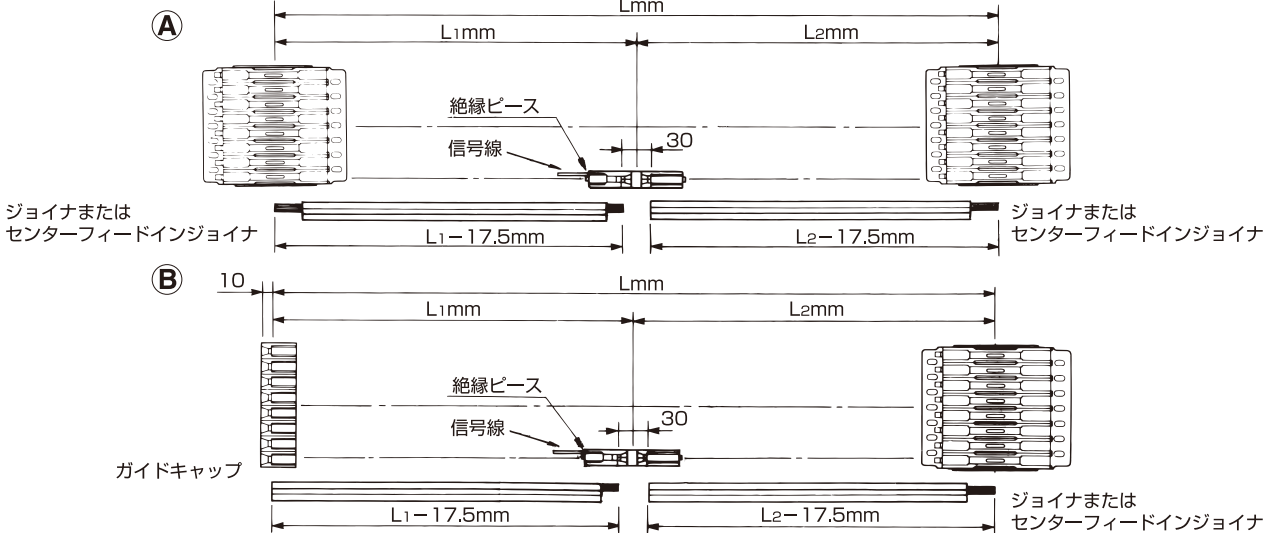
ジョイナに本体を矢印の方向に差し込みます。

※センターフィードインジョイナもジョイナと同様に接続します。

9 絶縁ピースの取り付け

■本体の切断加工

①②それぞれの場合のL寸法に合わせて本体を切断してください。



ご注意

信号線が不要な場合は電線の末端をビニールテープで絶縁し、集電アームの走行に支障がないよう固定してください。

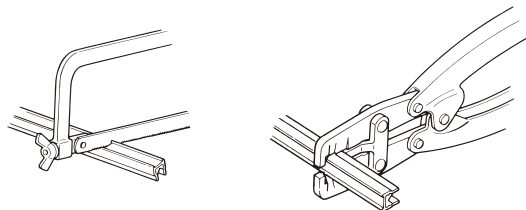
■給電する側の加工

本体を下図の寸法にケガキ、金ノコまたは、専用シースカッターで絶縁シースを取り除きます。



●金ノコの場合

●専用シースカッターの場合



ご注意

1. 金ノコで切断するときは、導体に傷を付けないようにご注意ください。
2. 本体切断面および絶縁シース端部は、電工ナイフ、ヤスリなどでバリ取りをしてください。接触不良のおそれがあります

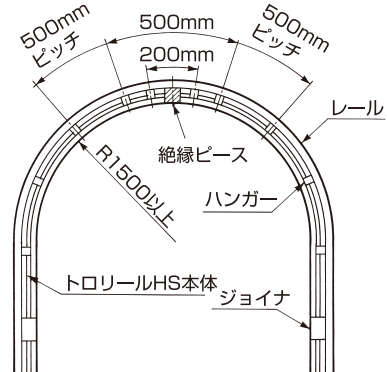
■R部への施工方法(内R、外R共通)

①R1500以上の場合

1. R部へのハンガーは500mmピッチで取り付けてください。
2. 絶縁ピースの両端200mmのところハンガーを取り付けてください。

②R1500より小さい場合

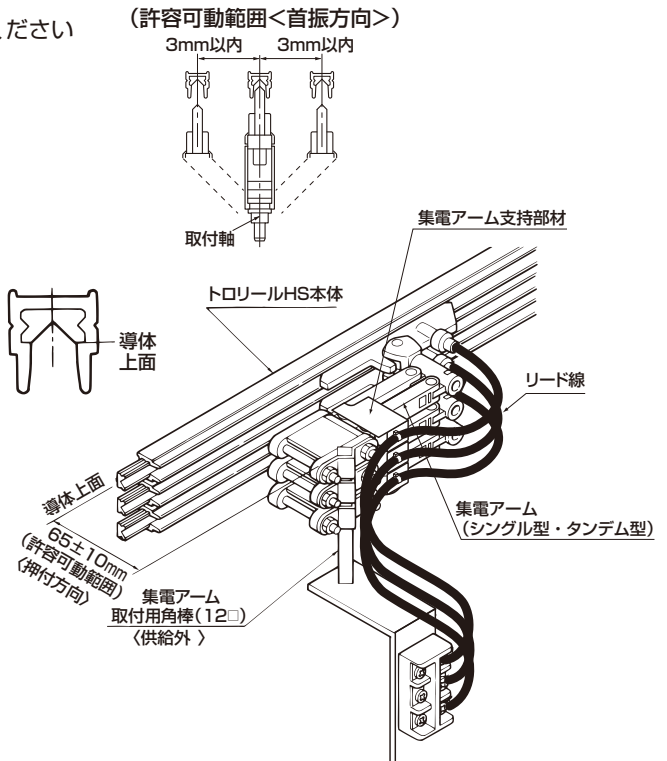
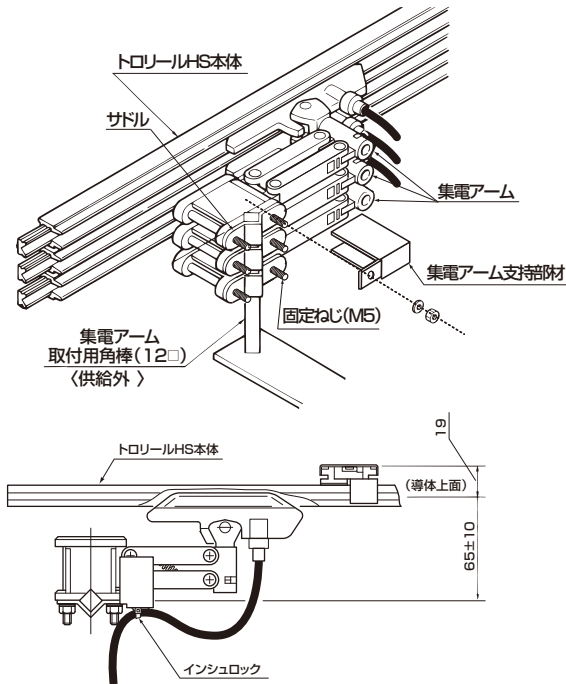
1. 上記①と同様にハンガーを取り付けてください。
2. トロリールHS本体を取り付ける際は、あらかじめ本体をRに沿って予備曲げを行ってからトロリールHS本体を取り付けてください。(予備曲げは手で容易にできます。)



10 集電アームの取り付け

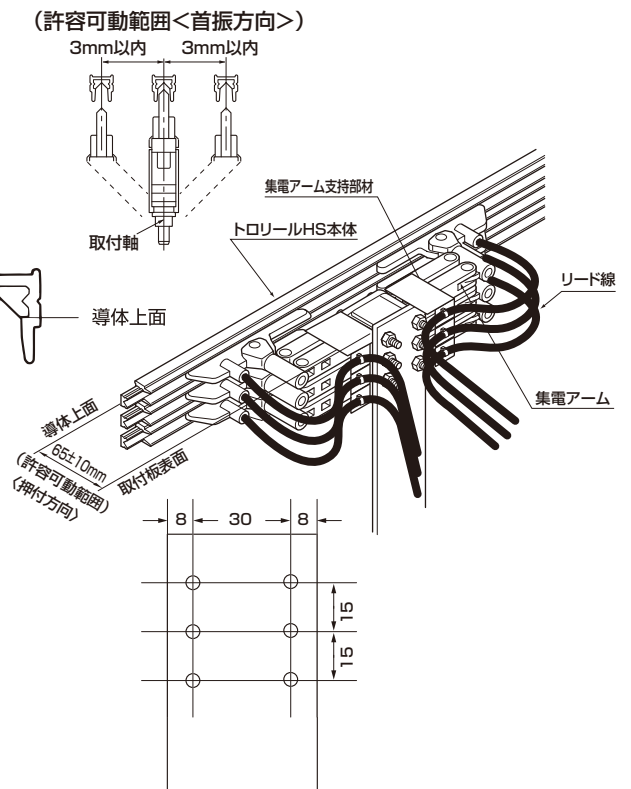
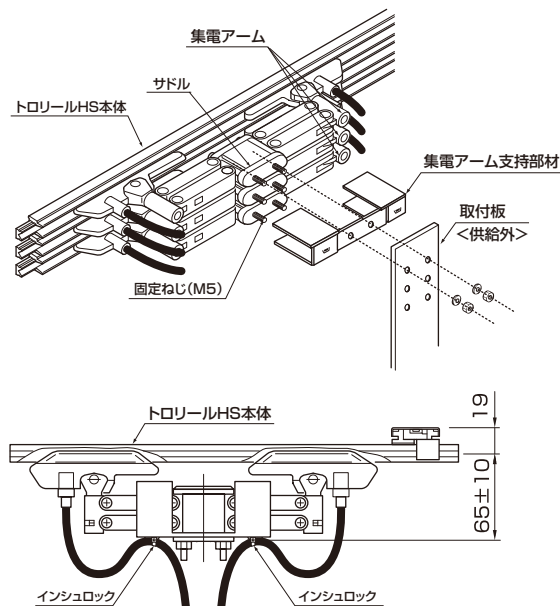
■タンデム型・シングル型(角棒用)の場合

- ①集電アーム支持部材はサドルの上から取り付けてください。
- ②トロリールHSの導体上面から集電アームの取付角棒の中心まで 65mm(集電アームの許容可動範囲<押付方向> 65±10mm の中心値)としてください。
- ③トロリールHS 本体と集電アーム(取付軸)との中心を合わせてください
(集電アームの許容可動範囲<首振方向> 0±3mm)



■タンデム型(平板用)の場合

- ①集電アーム支持部材はサドルと取付板の間に取り付けてください。
- ②トロリールHSの導体上面から集電アームの取付板表面 65mm(集電アームの許容可動範囲<押付方向> 65±10mm の中心値)としてください。
- ③トロリールHS 本体と集電アーム(取付軸)との中心を合わせてください
(集電アームの許容可動範囲<首振方向> 0±3mm)

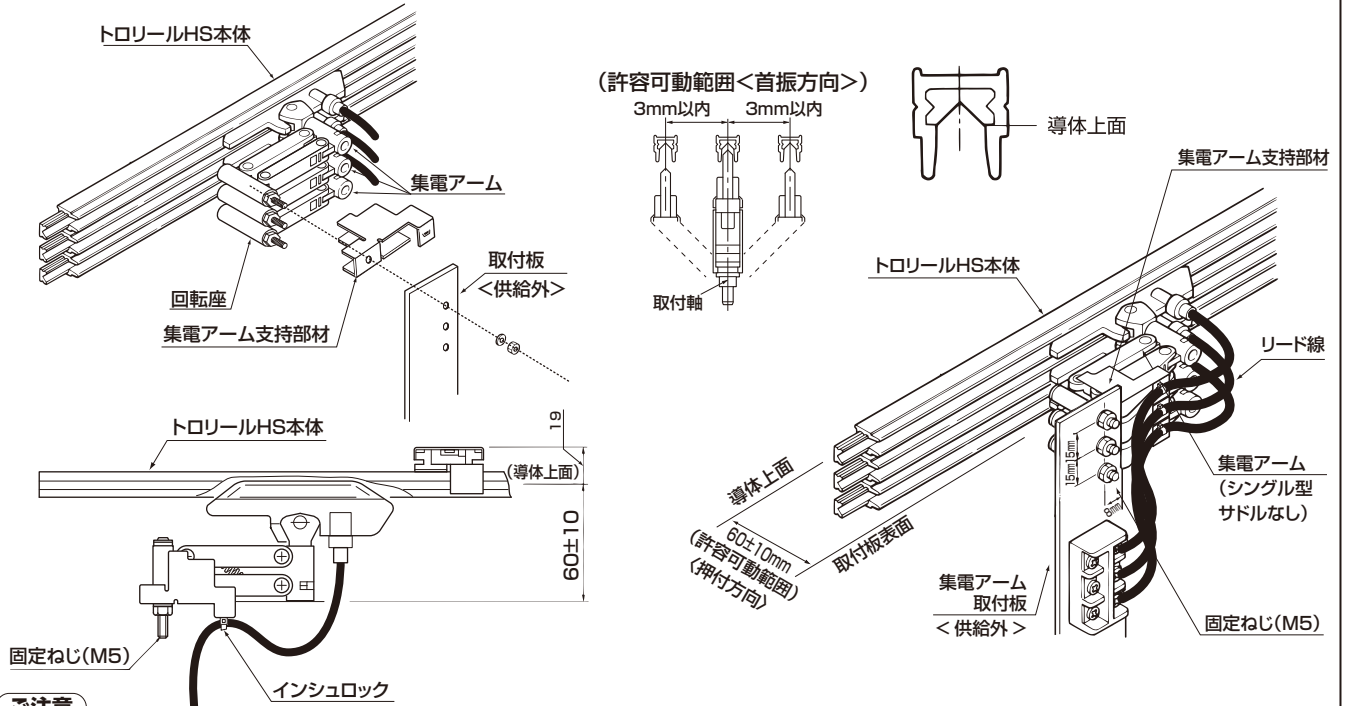


ご注意

- ・集電アームの取り付けは、15mmピッチで、取り付けてください。
- ・取付板への下穴加工は、30mmとし、取付板の端から8mmとしてください。

■シングル型(サドルなし)の場合

- ① 集電アーム支持部材は回転座と取付板との間に取り付けてください。
- ② トロリールHSの導体上面から集電アームの取付板表面まで 60mm
(集電アームの許容可動範囲<押付方向>60±10mm の中心値)としてください。
- ③ トロリールHS 本体と集電アーム(取付軸)との中心を合わせてください(集電アームの許容可動範囲<首振方向> 0±3mm)

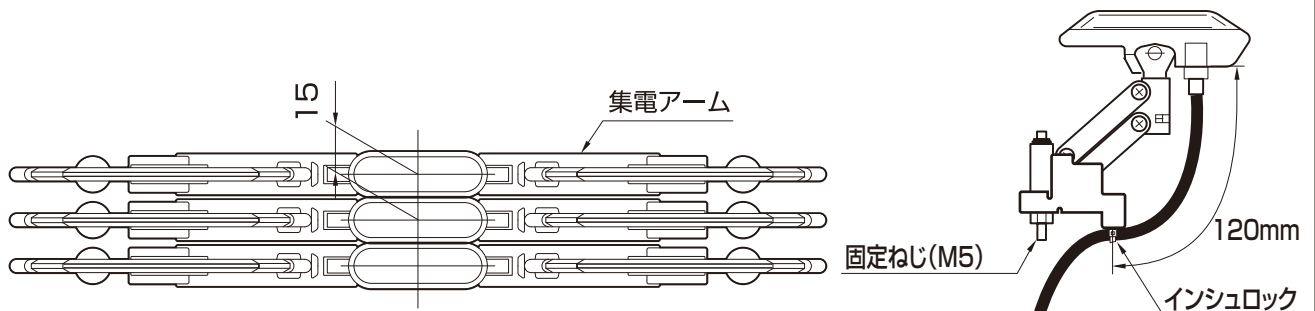


ご注意

・集電アームの取り付けは 15mmピッチで、取付板の端から 8mmの位置に取り付けてください。

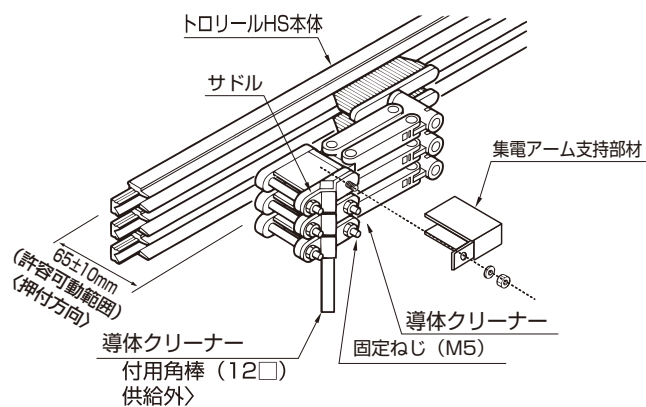
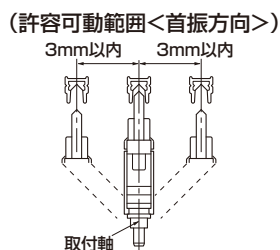
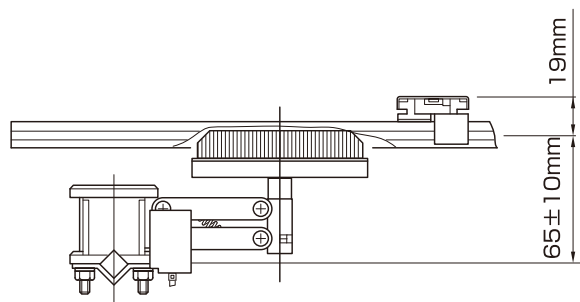
ご注意

1. 各部の取付寸法を確実に守って取り付けてください。設備稼働中は集電アームを 65±10mm(シングル型(サドルなし)の場合は 60±10mm) の許容範囲内で使用してください。
～接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。～
2. 集電アームの取り付けは 15mmピッチとし、密着させて取り付けてください。[シングル型(サドルなし)は除く]
～接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。～
3. 集電アームは本体と平行に、またねじれないように取り付けてください。
～接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。～
4. トロリールHS 本体の中心と集電アームの中心が 3mm以内に付けられていることを確認してください。
～接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。～
5. 集電アームのリード線は同梱のインシュロックを使用し固定してください。また集電子を交換した際は、市販のインシュロック(長さ 100mm以下、幅 3mm以下)を使用し、集電アーム支持部材に固定してください。
その際、リード線にたるみ(リード線固定位置の目安は集電子の根元より 120mm)をもたせ、集電子の走行に影響を与えないようにしてください。
～集電子の偏摩耗・シースカス発生などのおそれがあります。～
6. リード線を負荷に接続するときには、必ず本体の相(R、S、T)を確認してから結線してください。
7. 圧着端子を端子台に固定する際は、必要以上にリード線をひねらないでください。
～集電子の偏摩耗・シースカス発生などのおそれがあります。～
8. 集電アーム支持部材を施工する際、落下等により変形および破損が生じた場合は、交換をお願いします。
～集電子の偏摩耗・シースカス発生などのおそれがあります。～



■ 導体クリーナーの取り付け方法

- ①集電アーム支持部材はサドルの上から取り付けてください。
- ②トロリールHSの導体上面から導体クリーナーの取付角棒の中心まで65mm
(集電アームの許容可動範囲<押付方向>65±10mmの中心値)としてください。
- ③トロリールHS本体と集電アーム(取付軸)との中心を合わせてください(集電アームの許容可動範囲<首振方向>0±3mm)



ご注意

- ・導体クリーナーは本体と平行に、かつねじれないように取り付けてください。
～スパークによる火災・接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。～